ばら積み固体貨物を運送する船舶についての構造要件を定める告示等 の一部改正について

平成18年2月
国土交通省
海事局安全基準課

1. 改正の背景

我が国は、海難事故の防止及び海上の人命の安全を確保することを目的とした、1974年の海上における人命の安全のための国際条約（以下「SOLAS 条約」といいます。）の締約国です。

2004年12月、国連の専門機関である国際海事機関において、バルクキャリアの安全性向上等を目的とした SOLAS 条約附属書第XII章の改正が採択されました。

この改正は、2006年7月1日に発効することから、同改正の内容を担保するため、ばら積み固体貨物を運送する船舶についての構造要件を定める告示等において所要の改正を行うことを検討しています。

2. 改正の内容及び適用方針案

以下のとおり条約附属書の改正内容を適用することを検討しています。

①バルクキャリアの構造要件

a) 次に掲げる船舶について、二重船側部分の幅、防撓材^{とう}の位置等の要件を適用します。

- 1) 国際航海に従事する総トン数 500 トン以上の「主として乾貨物をばら積みで運送する船舶」（以下「新定義バルクキャリア」といいます。）であって、長さ 150 メートル以上の二重船側構造のもの
- 2) 国際航海に従事しない総トン数 500 トン以上の新定義バルクキャリアであって、遠洋又は近海区域を航行する長さ 150 メートル以上の二重船側構造のもの（限定近海船を除く。）

【平成18年7月1日以降に建造される新造船に適用】

b) 次に掲げる船舶について、冗長性（任意の一の防撓材^{とう}の損傷が防撓構造^{とう}全体の崩壊を生じさせる他の防撓材^{とう}の損傷を直ちに与えることのないこと）等の貨物倉の構造要件を適用します。

- 1) 国際航海に従事する総トン数 500 トン以上の新定義バルクキャリアであって、長さ 150 メートル以上のもの
- 2) 国際航海に従事しない総トン数 500 トン以上の新定義バルクキャリアであ

って、遠洋又は近海区域を航行する長さ 150メートル以上のもの（限定近海船を除く。）

【平成 18 年 7 月 1 日以降に建造される新造船に適用】

②ハッチカバーのメンテナンス

次に掲げる船舶について、ハッチ・カバーの保守・点検の要件を適用します。

- 1) 国際航海に従事する総トン数 500 トン以上のバルクキャリア（新定義バルクキャリアを含みます。）
- 2) 国際航海に従事しない総トン数 500 トン以上のバルクキャリア（新定義バルクキャリアを含みます。）であって、遠洋又は近海区域を航行するもの（限定近海船を除く。）

【施行日以降に即適用】

3. 今後のスケジュール(予定)

公 布： 平成18年3月

施 行： 平成18年7月1日